

# ハードディスク・フラッシュメモリの データ復旧サービスについて

SATテクノロジー・ショーケース2013

## ■ はじめに

ある統計によると、パソコンの出荷台数は年々増加傾向にあり、2012年も3.3%増の1530万台と予想されております。またフラッシュメモリについても大容量化が著しく、パソコン、タブレット端末等への大幅な採用が見込まれています。コンピュータは広く普及しており、あらゆる分野で使用されております。これらのコンピュータで使用しているデータの消失は事業の遂行や信用に多大な影響を及ぼします。

データ復旧サービスはハードウェアやソフトウェアの障害により読み出しができなくなったハードディスク、フラッシュメモリ等のメディアからデータを救出するサービスです。

当社は高度な技術と安心のデータ復旧サービスをご提供しています。

## ■ 活動内容

### 1. データ復旧サービスの特徴

完全自社完結の復旧環境なので、セキュリティ、スピードともに優れています。

#### ● 高度な技術力～物理障害に対応～

高度なノウハウと技術を要する重度の物理障害に対応。国内ではほんの数社しか対応していないといわれています。ハードディスクはもちろん、フラッシュメモリの物理障害にも対応しています。

「物理障害」：ハードウェアの故障によりデータの読み出しができなくなった状態をいいます。

「論理障害」：データ部分の障害によりデータの読み出しができなくなった状態をいいます。

#### ● スピード

業務フローの効率化、技術の自社開発により最短当日お渡しできるスピードを実現しています。

#### ● 安心

必要なデータが取り出せた場合のみ復旧費用をいただく完全成功報酬制です。

事前に復旧可能なファイルのリストを確認いただくことができます。

徹底した情報管理によりお客様の情報を守ります。

### 2. データ復旧対応記憶媒体

#### ● ハードディスク

パソコンの主要データ保存先であり、大容量化が著しいため、データが集中的に保管されています。そのため、障害発生時にはデータ消失による損失が大きくなる傾向にあります。

ディスクの内部では、ちょうどレコードのようにデータが記録されている円盤が回転し、その上を読み取り装置が移動しています。稼動部分があることから衝撃や経年劣化等により物理的障害が発生しやすくなります。

- ❖ パソコン
- ❖ サーバー
- ❖ NAS(Network Attached Storage)
- ❖ 外付USBディスク
- フラッシュメモリ

パソコン、デジタルカメラの記憶媒体として多く使われ始めています。稼動部分がないことからハードディスクより衝撃に強く、また軽量といった特徴があります。しかし持ち運びによる破壊や水没、電気的な不具合により読み出せなくなる場合があります。

- ❖ USBメモリ
- ❖ SSD(Solid State Disk)
- ❖ SDカード
- ❖ CFカード

### 3. こんな場合にはすぐにご相談下さい。

#### 【 パソコン 】

『ご使用のパソコンが急に立ち上がらなくなった』

『使っている途中でブルースクリーンが発生してデータが読み出せない』

『誤ってファイルを削除してしまった』

『パソコンを落としたり立ち上がらなくなった』

『ディスクからカチカチと音がしている』

#### 【 外付USBディスク 】

『電源が入らなくなった』

『USBで繋ぐと反応するがディスクが読み出せない』

『データが記録されているのに「フォーマットしてください」と表示される』

#### 【 サーバー、NAS 】

『サーバーに接続できなくなった』

『RAIDにエラーが発生して読み出せなくなった』

『ディスクエラーでRAIDを構成するディスク1台を交換したらシステムがストップした』

代表発表者 **富山 晃典 (とみやま あきのり)**  
 所属 **つくばインダストリーズ株式会社**  
 問合せ先 **〒305-0047 茨城県つくば市千現 2-1-6**  
**つくば研究支援センター内**  
**TEL:0120-961-421 FAX:029-850-3063**  
**info@tsukuba-data.com**

■キーワード: (1) データ復旧  
 (2) ハードディスク, フラッシュメモリ  
 (3) 物理障害, 論理障害